



週報

2016～2017 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム
RI のテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 佐藤圭司 副会長 小島美恵子 幹事 益子伸明

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1114 回(12 月 13 日)例会の記録

点 鐘 佐藤圭司会長
合 唱 四つのテスト
第2副SAA 田中会員 若松会員

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34名	28名	84.85%	81.25%

会長の時間

佐藤圭司会長



早いもので、今日で今年最後の会長の時間になりました。

次回 20 日の忘年会にて、今年も締めくくりとなります。本日は半年間の経過をご報告させていただきます。7月から始まった佐藤年度でしたが、世界一周のクルージングを楽しく話しておられた田中隆行会員が7月に、そして 11 月には長年にわたり事務局でお世話になりました斉木明美さんが亡くなりました。さらに8月下旬に宮野エレクトから大腸にポリープが見つかり、手術のためしばらく欠席すると連絡があり、その後改めて12月いっぱいということで退会届が出されるなど、マイナス要素が多くありました。しかしながら、高田会員においては頸椎の手術を受け無事生還され、宮岡パスト会長も腰の圧迫骨折を起こされましたが、こちらは無事克服。少しずつ明るいニュースも出てまいりました。

会員増強としては、若松パスト会長のご紹介でもあり

ます『マコト建工』社長の森様、田端会員のご紹介であります『(株)リュウオー』の新井様と、2名の入会も現在進行中ということで、嬉しい知らせとなりました。増強委員長の稲見パスト会長も、全力でこれから頑張るとおっしゃっておりますので、あと半年、会員全員で増強に力を入れて参りたいと思います。

また、各委員長様にもご協力いただき、運営も滞りなくスムーズに行われており、大変感謝しております。特に外来卓話を取りまとめておられるプログラム委員長の小林会員、旅行・夜間例会など楽しく親睦を深める場を提案して下さる親睦委員長の松浦会員など、これらの活動には特に力を入れていただき、感謝申し上げます。

そして理事会運営のメンバーの皆様も大変有意義な意見交換を行っており、会の運営をスムーズに進められております。この場を借りて深く感謝申し上げます。

さて、残りは来年1月から半年程あります。前半の反省点としましては、私が会長方針として述べております「地域に根付いたロータリー」というテーマについてです。掲げたテーマを実行するために大事なことは、まず狭山の人々にロータリーを知っていただくことにありました。狭山で頑張っている団体の活動を支援し、交流を深めることで地域の人々にロータリーの奉仕精神に触れてもらいたいと考えたのです。当クラブは、こども食堂を行っている『ひまわり倶楽部』と、赤ちゃんを通してお年寄りとお母さんとの交流会を設けている三世代交流会『さやマーチ』の二つの団体を

応援していこうと決め、ロータリー地区本部からの地域補助金、あるいは我々が8月に行った七夕まつりへの参加、そして10月のフリーマーケットなどから生まれた資金を二つの団体へ寄付致しました。そして団体からは、狭山中央ロータリークラブが応援してくれているという信頼関係が生まれてきたように思います。

しかし、前半7月から11月の6カ月にかけては、日々の忙しさと色々な行事(ガバナー訪問、地区大会、七夕まつり、フリーマーケット、親睦旅行、等々)、また事務局の引継ぎなど問題が山積しており、この二つの団体に一点集中することができなかつたことが最大の反省すべき点です。1月からは、改めて会長方針で述べた「地域に根付いたロータリー」を実現するために、二つの団体の交流をもっと身近に感じられるように努力をしていきたいと思ひます。

その実行のためにも、みなさまの益々のご協力程、お願い申し上げます。

幹事報告

益子幹事

・地区より『第3グループIM開催のご案内とIM登録のお願い』

『派遣年度 2018年7月1日～2019年6月30日

R財団[海外派遣]奨学生募集ポスター掲示のお願い』

・一般財団法人比国育英会バギオ基金より

『2015事業報告の送付と基金への寄付のお願い』

・受贈会報 所沢 RC

・回 覧 AARニュース 12月号

委員会報告

R情報・雑誌 東委員長

横書 P.30『米山から広がる新しい世界』

狭山中央RCでは内モンゴル出身のホロワさんを奨学生としてお預かりしています。とても熱心で素晴らしい生徒さんだと思われまふ。この米山奨学金というのは経済的な困窮を救うのが目的ではなく、将来国を担う人材を育てるのが目的です。今月号も内容の深い記事が出ているのでどうぞお読みになつてくださひ。

「外来卓話」……………

R財団部門 資金管理委員会
委員長 細淵克則様



ロータリー財団は難しく何をやっているのかよく分からないと言われることが多々あります。

RI(国際ロータリー)とR財団(ロータリー財団)とは全く別の組織です。皆さんから集めた寄付を管理するのがR財団で、本来RIとは関係ありません。R財団は集めたお金に対して各ロータリーの事業に許可を出し、お金を配分する仕事をしていまふ。

寄付にはポリオプラス基金、恒久基金、年次基金の3種類があります。

ポリオプラスはポリオの撲滅を支援する基金です。ポリオは人から人へしかうつらないので、撲滅する事が可能だそうです。2014年の患者数は359名、それが2015年には74名になり、今年9月10日の時点で25名ということで、紛争地域を除く表面上出ているデータでは年々減つてきていて、あと少しで撲滅出来ると言われている。

インドでは3年前に1千億円かけて国中の子供たちにワクチンを接種して撲滅を計りました。アフリカ等の途上国は戸籍がしっかりしていないので各家庭を回つて実際に子供の数をカウントしなければならず、ただワクチンを口の中に入れては良いという訳ではないので大変コストがかかります。しかし、あと55億ドルあれば撲滅出来るという最終段階まで来ております。

55億ドルの中で5億ドルだけはロータリーとビルゲイツが出してくださいと依頼されています。ビルゲイツはロータリーが1\$出せば自分が2\$出すと言つており、15\$ならば彼が30\$出資して合わせて45\$になるのでこれを最後の戦いにしたいという計画です。ロータリーではこれらをR財団がプールしているお金の中から払つておりますので、来年には合計で55億ドルとなつてポリオは地球から撲滅出来るのではないのでしょうか。恒久基金はプールして運用して得た利益でR財団の職員、事務経費を養つていて、プール金が年々増えており残りは3年後に地区に返つてきます。年次基金は皆さんの寄付したお金を3年間プールした後に補助金として使えるものです。

ニコニコボックス

例えば、3年前に100万円を寄付したとすると、半分の50万円は2570地区に返されて、そこから更に半分の25万円がグローバル補助金、残りの25万円が地区補助金として使える事になります。狭山中央RCさんは過去3年間補助金を使用させていただいておりますが、その原資になるのが年次基金です。

寄付はただ出しっぱなしという訳ではなく、皆さんに使っていただけるという事を覚えておいていただきたいと思ひます。そして、出来れば広報(ロータリーのPR)に使ってください。本来は継続性があるとはいけないのですが、R財団の方も拡大解釈しており、去年はAという施設に贈ったと同じものを今年にBの施設に贈る場合、AとBは関係ないのでやることは一緒でも贈る場所を変える事によって継続ではないと判断しますので、ロータリーのPRをするためにステッカーを貼ったりしてクラブをアピールする事に補助金を使っただけだと助かります。補助金は60%消化しないと3年間貰えなくなってしまうので社会奉仕委員会や広報委員会とタイアップするなどして是非使ってください。

以前はクラブが半分以上出さないといけないという縛りがあったのですが、夢計画になってからは内容さえ良ければR財団の方で補助致します。ロータリアンが少しでもその事業に係っていただければだけで、様々な事業に使えますしとても簡単な事なのです。

グローバルは3万ドル以上で〆切が一切ないのでネットでも可能です。例えば3万ドルの事業では、150万はRIからワールドファンドという資金が出るので、残りの150万の半分の75万はグローバル補助金から、もう75万をクラブと例えば海外の地区の補助金と現地のクラブが出せば、300万のプロジェクトが上手くすれば20~30万で出来る可能性があります。

グローバル補助金による奨学制度で排出された国際親善奨学生は世界中で活躍していて、先のR財団100周年シンポジウムにはそうそうたるメンバーが顔を揃えました。

来年3月には補助金管理セミナーがあり、それを受けないと補助金を受け取る資格が与えられません。その後地区とクラブが覚書をすればいいだけです。次年度の会長とR財団委員長が出席してください。皆さんの寄付は無駄にならず必ず返ってきますし、補助金で補って事業を展開して是非ロータリークラブをPRしてください。宜しくお願い致します。

R財団部門資金管理委員会委員長 細淵克則様
本日は宜しくお願ひ致します。

佐藤君 今年最後の昼間の例会となりました。あつという間で何かと色々な事がありました。来年は良い年であります様に。本日の外来卓話のR財団部門資金管理委員会委員長細淵克則様、ようこそお越し下さいました。R財団勉強させて頂きます。宜しくお願い致します。

益子君 地区R財団部門 細淵様、ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。

江原君 R財団部門資金管理委員会委員長細淵克則様、お忙しい中おいで下さいまして本当に有難うございます。本日のお話しを楽しみにしておりました。卓話の時間を宜しくお願い致します。

小島君 R財団部門資金管理委員会委員長細淵克則様、ようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。

柴田君 本日は大変有難うございます。財団とクラブとの関連を説明してください。

田中君 狭山市市民相談員のため早退します。

若松君 昨日ホノルルに行っている清水さんより電話。「無事にホノルルマラソン完走！」70歳を過ぎての初挑戦凄いですね。来週の夜間例会はこれをツマミに飲みましょう。

吉松君 R財団細淵資金管理部長様、ようこそおいで下さいました。誠に有難うございます。

※ 次の例会

29年1月10日(火) 12:30~13:30

第2副SAA: 東君 江原君

外来卓話 ニューヨーク・メッツトレーナー
多田 きよし 様